

□ 随 想 □

# 神戸の新しい世紀に向かって

小野 一夫

神戸も開港百年をむかえ、清盛公の「福原京」のむかしはともかく、近代神戸として再誕生してから、いくどかの節と発展への意志決定をせまられたときがあったであらうと思われる。それを神戸の先輩諸賢はよく判断されて、官民一致協力して今日の「大神戸」発展への道を築かれたことにたいして、深い尊敬と感謝のまことを捧げるものであるが、それとともに、それ以後われわれがこの榮譽を守りつづけ、さらに発展させなければならぬ重大なる責務のあることを想い、心から覚悟をあらたにするものである。

「神戸はどうなるか？」  
「神戸はどう生きるべきか？」  
という声を終戦後からきいて久しい。そしてまた「神戸は地盤沈下の大なるものがあるのではないか？」  
「東京はもとより大阪にくらべても地盤沈下の度

がひどく、大阪に合併されるのではないか？」  
「中京の名古屋をみなさい。昔日の田舎町ではない。あんならなければ神戸はつづれますよ」  
などなどの声が各方面からいわれるのは否定することのできない事実である。

しかし、今日「神戸」は現実として現存している。それは見方によっては可もなく不可もなくであるかもしれないが、神戸は依然として「不沈空母」のごとく「日本」にも「世界」にも現存している。

ここに私は「神戸」の現実における偉大な存在意義を見出したい。

神戸をまわる環境が——日本的にも——世界的にも——大きく変化したことは何びとも否定しえない。過去の神戸は徳川時代の平戸・長崎にかわる明治・大正の海外文化流入の窓口であったが、航空機に人の移動の中心が移ると、この機能は羽田に全面的に移った。

政治的要因により旧満・韓・支、およびいわゆる東南アジア貿易が終戦後昔日の面影なく、横浜が得意とする対米貿易に日本貿易の中心が移行したことが、神戸の地位に著しい変化をもたらしたことも厳然たる事実である。

統制経済の長期にわたる施行と、自由経済とはいえ最近の世界的傾向たる、経済界にたいする国家介入度の増大が、海運・船舶・雑穀・特産品などの神戸を中心とした、いわゆる「自由市場」をほとんど排除し、その機能の大部分を東京へ、そして一部大阪へ移行させたことも、神戸の機能に

イメージの大きな変化を与えたことは否定し得ない。

日本の重化学工業化——新日本国は貿易構造上「原料・食料・燃料を輸入し、附加価値の高い重化学工業品を輸出しなければ一億日本人が生きて行けないという——の至上命題に對し、神戸のヒンターランドはあまりにも面的に狭小でありすぎた、等々の理由で、神戸の地盤沈下——それとともに神戸から本社の移転が東京・大阪、就中東京に相継いだので——がややヒステリカルにいわれたのではないかと考えられる。

もちろん「神戸」を「東京」以上の生産力・流通力・政治力の街にしようという考えがあつての聲ではないと思う。そのようにいたずらにコンプレックスを売りものにするのが能もあるまい。神戸には神戸として果すべき立場と役割があるはずである。しかも「日本」も「世界」も神戸の健全にして素直な発展を望んでいる。ここに神戸の「ビジョン」というより、神戸が「日本」と「世界」に果すべき新しい「義務」が生れてくると思う。これからの神戸は他をうらやむことなく神戸に課せられたこの新しい「義務」をまず完全に果たすか否かによって、神戸の存在意義が決定せられると考えるのがいかならう。

まず第一は、神戸の港湾を整備することである。神戸港は「西日本」の「親港」である。神戸港が整備されなければ、西日本の海上交通は、その遠洋近海内航のいずれたるを問わず、完全にその機能が麻痺することを銘記すべきである。

第二は、神戸は、近畿経済圏と瀬戸内経済圏との接点であるとの自覚をよりさらにもつことであ

る。この意味は深い。唯一言にいえば、神戸は「摂津国」で「畿内」にあり「淡路」は「南海道」にあり「播磨」は「山陽道」にあり「但馬」は「山陰道」にあり、ということ、神戸は西日本の扇の要の地点を占めている。神戸が持つこの立地条件は、日本列島中他のいずれの都市よりも偉大な使命を神戸に課していると解すべきである。

第三は、大阪の過密は当然、兵庫県、神戸市にむかう。これをこころよくうけいれてやるとともに神奈川・埼玉・千葉のごとく東京に従属し、ふりまわされるという関係においてはなく——共存共栄で西日本の経済圏の中心核として健全な発展を考えることである。

大阪湾第一次埋立計画中残された唯一の「尼崎・西宮・芦屋」地元の埋立問題は、兵庫県が行政法上主体であるが、経済的にも、民生的にも、また住民感情的にも、神戸と大阪が一体となって協調、協議し、最善のものを立案実施すべきである。

このように考えるとき、近代神戸は開港百年を一つの節として新しい世紀——時代に歩を進めたのであり、洋々たる将来がわれわれの努力と相まって前途に横たわっていると表明しても過言ではあるまい。そして神戸の人々が、昔と同様に今日も偉大なるバイタリティをもって、日本における神戸の地歩を向上させることに日夜努力していることを私は信じて疑わないが、それとともに、世界の中の神戸に課せられた偉大にして崇高なる「新しい義務」にまた忠実に努力し行動していることを心より信じているものである。

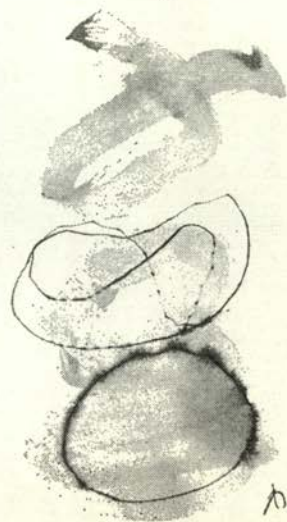
△日本香料薬品K・K社長▽



□ 随 想 □

# 場所と文学

小松左京  
え・津高和一



ほかの国でもそうかも知れないが、すくなくとも日本の文学の伝統の中に「自然・風土・場所との交感」という機能が、動かしがたく根を張っているような気がする。そして、それは、近代以降、西欧の文学批評の方法とともに輸入された観点——より精神的・論理的・抽象的な価値基準の外に、生きつづけているように思えてならない。日本の文学の重要な機能の一つは「自然・風土・場所」と「人間」を媒介し、そこに「生」を現出させることにあった、といっていいたいだろう。これによって、名もない山や川が人間の息吹きをふきこまれ、ある時、ある人間によって、そこに一つの生が生きられたしとしての意味をあたえられる。自然や風土や特定の場所は、常に人間の生の舞台であるとともに、うつろい、消滅して行く人間たちが、かつてたしかに存在し、生きていた、ということのあかしだった。——あの山は、かつてなにがし媛が愛人をもとめて、嵐の夜にこえていった山であり、この石は、悲恋の人が愛

人を恋うてついに石になったものだった。この峠に戦国の武將は陣をしき、あの川をはさんで歴史にのこる合戦が行なわれた。——自然の中に、こういうしるしがのこされることによって、後世の人は、それを媒介にして、過去・現在の時系列のへだたりをこえた「一般的な生」の中に、かつて生きた人々との交感をおこなう。自然は、そういった生の記録の「記憶装置」であるとともに「語り手で」もあった。つまり、日本の文学は、文字以前に、こういった自然・風土を「本」として成立していたようなふしがあり、この基盤は「文字に書かれた文学」が成立したのちも、文学の重要な機能の一つであると同時に価値の一面として生きのび、近世近代の文学の底にまでつながっているような気がする。——これを、素朴な自然崇拜や祖先崇拜のなごりと、一概にかたづけてしまうことはできないだろう。この傾向は、自然・風土とそこにぎざまれた歴史、祖先との連続意識と現在の生とが混然一体となっている日本民族の下意

識領域の「世界観」と重要なつながりがあるように思われる。自然の「改変」に対する、日本人の意識の底におこる根づよい抵抗も、そういった「生きていく」先祖のしるしである。人間の仲間であり、伴侶である自然と、その「かたち」といった感覚があるからだろう。

文字で書かれた文学、こしらえものの文学が成立するようになって、この傾向は、やはり文学の底に根づよくのこっていったことは、日本文学の中に、紀行文学の傑作が多いことをみてもわかるが、「こしらえものの文学」においても、その「舞台・背景」の地域・風土が、きわめて重要な意味をもちつづけた。「文学」が「歴史」と一部かさなりあいながら、決定的にたもとをわかつてくるのは、後者が「事実」を重んじるのに対して、文学は、人間やその活躍の舞台となる自然の中に、「魂をふきこむ」はたらかに価値があると考えられているからで、ここでは「歴史的事実」は必らずしも重要ではない。——近時、伊豆を訪れた時、かつては他国の人にはほとんど知られなかった修善寺が、綺堂の戯曲によって、いかに日本人の心情の地図の中で大きな意味をもつようになったか痛感したし、お宮の松のある熱海海岸は、羽衣の松のある三保海岸と同様、すでに日本人にとって「心情の場所」となっていることを考えずにはいられなかった。場所や風土に、いきいきとした魂をふきこみ、新しい「意味」をあたえるという、文学の機能と価値は、最近では、テレビの連続ドラマ——とりわけ「上方ドラマ」や、地方々々をめぐる行くNHKの連続ドラマ——によつ

て支持されているようだが、日本の文学伝統の中のこの要素は、これからもやはり消えることはないだろう。——明治になってひらかれた、近畿では比較的新しい神戸の街もまた、その短かい歴史のわりに、近代文学による照明を与えられた土地が多い。布引から熊内の方へぬける道を行けば、中河与一氏の「天の夕顔」が思い出されるし、諏訪山の移民館のほとりにたたずめば石川達三氏の第一回芥川賞受賞作「蒼氓」が思い浮かぶ。トア・ロードの坂をのぼって行けば、アンドレ・マルローの「人間の条件」のラストシーン——タクシ—にのる金もないメイが、夫の父、老ジゾールをたずねて行くシーンが想起され、阪急六甲附近では藤沢桓夫の「新雪」が、山陽電鉄に乗れば椎名麟三氏の一連の作品が思い浮かぶ、といったぐあいである。——だが最近の自然や街のたたずまいの急激な変りかたは、そういった、文学を通じての人生と場所とのかわりあい、また場所を通じての、文学と人生とのかわりあいのチャンスで、次第に危機に迫りこみつつあるようだ。そういった機縁としての「場所」の保存も、ある程度までは必要であろうが、同時に変革がやむを得ない時代であってみれば、うみだされつつある新しい都市、新しい風土を、新しい次元において、ふたたびそこにいきる人間との関係の中に息づかせるような、新しい文学もまた、これから書かなければならないだろう。それによって新しい街は、ふたたび人々の生活の心情の中に、根づいて行くような気がする。



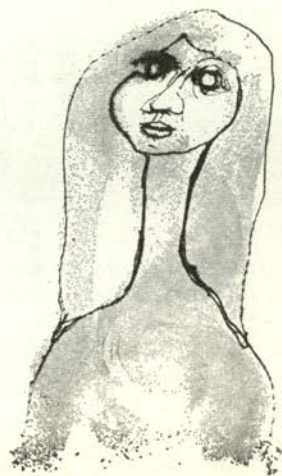
れんさいずいそう II

Rocking Chair

十河 巖

え・津高和一

# 神戸で 初の活動写真



ちかごろのテレビに「活動屋一代」というタイトルで、牧野省三伝が劇化されて放送されている。

そのうちに眼玉の松ちゃんのことや、連鎖劇という、なつかしい言葉がたびたび出てくる。「松っちゃんは、尾上松之助という初期の旧劇活動写真の俳優や」といえば、すぐ納得がいくらしいが連鎖劇ときては、いまだきの青年にわからせるためには、かなりの努力がいるようだ。

その連鎖劇というのは、劇映画の前駆現象といったもので、神戸とはなかなか関係が深い。

はじめて神戸で紹介された映画というのは、南極探險白瀬中尉の映画だったと記憶する。中尉は名を白瀬巖といい、軽重兵将校だったが、一九一〇年に南極探險隊を組織して、海南丸を機装して自ら指揮者となって出帆し、一九二二年に南極大陸の南緯八〇・五度に到着した。そこを大和平原と名づけて、日本の領海であることを世界に宣言した。さらに南極に船を進めようとしたが、装備の不足と、食糧の欠乏のために目的を貫徹しないまま、母国にひきかえした。

白瀬中尉の名は有名になったが、今日ほどマスコミが

発達していなかったで、コラーサ号の場合のようにもてはやされず、白瀬中尉はいわば不遇な英雄だった。

それにしても南極探險の活動写真が神戸で紹介され、しかも白瀬中尉が自ら舞台に立って説明するというの大変な前背景をよんだ。場所は今の新開地の神戸スバル座の前身、相生座だった。

舞台の前の方には探險隊がもって帰った剝製のペンギン鳥が三、四羽、それに隊員が着ていった防寒服や、額にはめこんだ表彰状のようなものが、いちめんに並べられていた。

中尉の話は軍人らしく至極簡単だったし、期待していた活動写真は天井から吊り下げられた白布に映写されたが、水源に碇泊する海南丸や、羽ばたいて逃げてゆくペンギン鳥ぐらゐのもので、しかもそれが露出過度で白じらしい画像が、うすぼんやり白布にうつるだけだったので、思っていたほどの感銘はうけなかった。

その次に見た映画は「日露戦争活動大写真」である。これもやはり相生座で公開された。実写（いまのニュース映画）かと思つて見ていたが、それは実戦でなく、百人ぐらゐのエキストラを使って戦争らしいものを再演し

たものにすぎなかった。それかといってストーリーがあるわけではなく、むしろ主役も端役もなかった。二〇三高地に日本軍が駆けのぼって日章旗を樹てるとパチパチッとは鳴るくらいのもので、伴奏の音楽など全然ないのだから気分のもり上がるはずがない。一向に気分がのらなかった。そこで劇場の支配人たちが相談した結果、せめて小銭の音でもさせたらどうかということになったらしい。

そのころ湊町に住んでいて、新開地とは近くだったし、また家の方と支配人とは心安くてよくしていたので、その翌日、まだ小学校の三年生ぐらいだったわたしに支配人が会いにきた。

「きょうはぼんぼんにおたのみがありますんで。いま相生座で日露戦争の活動をやってますが、鉄砲の音をたててはしますのや。それでお友達を十人ほど集めてきてもらえしまへんやろか。ほんの夕方の一時間ぐらいですみますし。やってもらえたら、お小遣いもあげますしな」

鉄砲には興味があった。

「ぼんぼん、やってもらえまっしゃるか」

大の大人が子供に頭をさげるのだから、こちらは得意だった。

「おじさん、ぼくに鉄砲をうたしてくれるのか」

「鉄砲はあむのおます。鉄砲を鳴らすのやおまへん。鉄砲の音だけさすのだす」

いっこう話がわからない。

「おじさん、鉄砲の音でなんやね」

「細い竹を二本づつ用意しときますさかい、活動で兵隊が鉄砲をうかけると板の腰掛をバチン、バチンと叩いてはしますのや。へえへえ、それだけで結構です」

「おじさん、それでええのか」

「それだけやってもらえたら、これから芝居でも映画でも入れてあげます。でも、それはぼんぼんだけだっせ」

「ふーん。そんならやってあげよ」

その夜、友達を七、八名もつれて劇場へゆくと、舞台裏の白い映写幕の裏側へ案内された。七十センチぐらいで箸ぐらいの太さの竹の棒を二本づつ渡された。画面で日本軍が小銃をうちだすと、支配人が「それ、叩いて」と合図をする。と、子供らは一斉に二本の竹のムチで腰掛の板をたたくのである。

結構その竹のムチ音が小銃の音に聞こえるらしくて、その上、頼んできたらしい喇叭卒上りのおじさんがポベポベやるので戦争の気分が濃くなった。

映画は一時間半ぐらいですんでしまった。子供らが帰りかけると、封筒に入れたお駄賃を渡された。

支配人は、わたしだけをこっそり暗がりへつれてゆき「ぼんだけは他の子よりも沢山入れてあるから、皆んなにいわんでおいてや」

ほかの子供らには五銭ずつ入っていたが、わたしの封筒には十銭玉が光っていた。

三日ほどは無事にいったが、四日目ごろから子供らの集りが悪くなった。支配人に話してみた。

「おじさん、お駄賃はみんなボクといっしょにしてほしい。そやないと、みな、あしたからやめるといってるぜ」

「明くる日は子供全部が休んだので、大人を狩り集めて、子供の代りをしたらしい。これが生まれてはじめてのストライキだった。

その後、相生座にかかる新派劇の中で悪者を追っかけたり、小船で海へ脱出するような、舞台ではやれないような場面だけを映画に撮って、映写幕に映し、活動写真が終って映写幕がするするとあがると、同じ場面に連続した舞台背景ができていて、劇の筋がつながる。こんなに劇と映画をチャンボンにしたのを連鎖劇といったのである。これが劇映画のさかんになる転機となった。

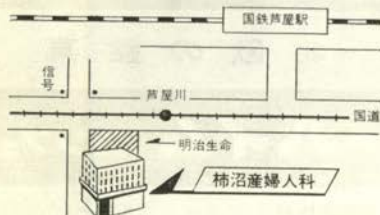


こんにちは赤ちゃん<2>



大谷和彦ちゃん 5カ月  
完全看護★冷房完備★病院前駐車可能

## 芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大柵町 9 番地  
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)  
☎ 芦屋 (0797) 2-2139・2-4087

## HAYAMI CLINIC



〈ホテル式ドック〉

### 内科ドック

内科精密諸検査

- 通院ドック(2日間) ●胃腸科ドック(1日間)
- 入院ドック(6日間) <特室・1等室>

★医療法人《速水会》

## 速水クリニック

各室エアコンディショニング

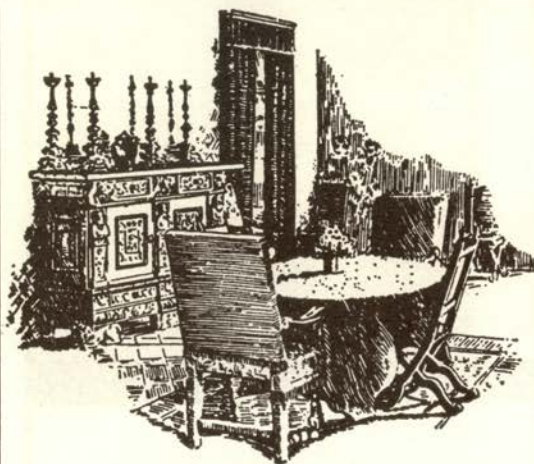
バス・トイレット・テレビ・電話付

神戸市長田区御屋敷通 6 丁目(西代陸橋西)  
予約・連絡 TEL (神戸) (62)-4031~2

生田分院 神戸駅前診療所

生田区多聞通 1 丁目34 TEL (34) 8 3 2 9

家具・室内装飾・工芸品



## 永田良介商店

神戸市生田区三宮町三丁目・大丸前・電話神戸(39) 3737(代表)

東京店・東急百貨店 日本橋店内1階 03(211)0511  
本店(渋谷)6階 03(462)3180

お中元に

- \*バウムクーヘン
- \*クッキー
- \*マドレーヌ
- \*クリームシモン



ゴールデンセット 1,100円より各種

北 欧 の 銘 菓

## ユーハイム コンフェクト

本 社・工 場 ■神戸市葺合区熊内町1 (市立美術館東隣)

TEL 22-1164・9865

三宮センター店 ■神戸三宮町1センター街(洋菓子・喫茶バーラー)

TEL 33-2421・4314

生 田 店 ■神戸三宮生田筋(階上喫茶室) TEL 33-0156

さんちか店 ■神戸三宮地下街スイーツタウン TEL 39-3558



# 神戸のアイディアは神戸のリーダーシップで

小西 一夫

(神戸銀行常務取締役  
神戸経済同友会代表幹事)

★スマトラで覚えたコーヒーの味

上島 常務さんのお生まれはどちらですか。

小西 大阪府の堺市です。商業的・海洋的な町で、古くから自由な気分にめざめていたところだと思います。しかし、小学校から中学のはじめまで堺でしたが、父の転任で堺中学の一年のとき、こちらの滝川中学に転校してき

ました。その意味で準神戸っ子の仲間にはいれるかもしれません。

上島 達司

(上島珈琲本社副社長  
神戸青年会議所理事)

上島 大学は京大の法科でしたね。法科とは何か今のお仕事とは畑ちがいのようですが。

小西 法科からかなり多くの者が銀行に入っていますし、それに私の場合、父が銀行員だったことも影響しているでしょうね。ただ正直に言って高校時代には言葉の



小西 一夫氏

問題に興味をもって、出来れば大学の文学部にも入り、言語学でも勉強すればなどと夢みていました。もちろん、これでは飯がいただけなかったかもしれないね。

**上島** 法科を出てすぐに神戸銀行に入られたのですか。

**小西** そうです。しかし厳しい時代でして入行半年後には軍隊です。文字通り花も嵐も踏み越えて行ったわけで「神戸っ子」にでているような楽しい遊び場をエンジョイ出来なかったことが残念です(笑)

**上島** それでは終戦当時は外地ですね。

**小西** 赤道直下のスマトラで終戦を迎えました。上島さんを前にしているからというわけでもありませんが、スマトラにいたお蔭でコーヒー党になってしまったようです。現地では午後三時頃になりますと軍隊の全員にコーヒーが出て、しかもいれかたが実にうまいのです。それ以来とうとうあの香りに魅せられ、あの色が忘れられなくなったのです(笑)。戦争という暗いイメージのなかで、ドリアン、パイヤ、マンゴスチンその他、もろもろの果物とともにスマトラの食生活だけは、うるおいに富んだものがありましたね。さらに日本人をアジアの先輩、兄貴分として心から慕ってくれるインドネシア人の多く

を見ると、敗戦直後であっただけ身にしみてうれしく思いました。

#### ★街らしい街、神戸の経済規模の可能性

**上島** 神戸経済界の地盤沈下と最近よくいわれるのですが、常務さんは東京の仕事をされていた関係で、東京・大阪に比べて神戸をどのように見ておられますか。

**小西** 神戸の地盤沈下とのことですが、私は必ずしもそうは思えません。むしろ将来を展望すれば無限の発展可能性をすら感じます。東京の場合、何事につけても政治との関連が端的にあらわれるのですね。それから東京は日本の中心だという意識が、時には勇み肌となり、時には独善性、自尊心となってわれわれの目にうつるという場合すらなくはありません。しかし経済力の旺盛という現実だけは、やはり認めなくてはなりませんね。大阪の場合、昔から商の道に直結した土地柄だけあって難しさのある反面、ほんとうの商売とはこれだといった面白さを感じさせられます。

上島達司氏



神戸と大阪ではそう本質的な違いはないと思うのですが、ちょっと住んでみても両都市のカラーの違いを膚でうけとることも事実です。なんといっても神戸には明るい自然の美しさと、開放的な気楽さが、大都市としての文化的な香りを織りまぜ、いろいろな面ですばらしい融合を示していると思います。神戸のような街こそ本来の街というべきではないでしょうか。経済力がもっと旺盛なら錦上花を添えるところですが。私どもの神戸銀行は、このような特色をもった神戸に本店があり、過去・現在・将来にわたって地元神戸との結びつきがきわめて強いのですが、このことは神戸のもつ良きイメージを享受することが出来ますし、また地元とともに榮えていき、同時に全国的な規模の銀行として発展していくという二面性をもちうる点で非常にありがたいと思います。

**上島** 今後、関西の企業が、東京や地方へ進出することが多いと思うのですが、そういう場合に神戸銀行が地元



企業をバックアップする、という意味も含んでいるのでしょうか。

小西 もちろん企業の内容や当時の経済環境にもよりますが、できるだけ協力させていただくということにもなるでしょう。

### ★神戸の発展的な可能性を積極的に追求しよう

上島 銀行は企業とともに伸びてゆく、ということですね。ところで、東京・大阪と仕事でまわられても、神戸の経済規模というものは、どの程度でしょうか。

小西 経済規模の規程を何にとるかで判断も分れまじょうが、現在のところある程度他の大都市と格差のあることはあらそえません。しかし私はやはり企業の管理中枢機能が神戸の場合どう変化しているかといった点に関心をもちます。さらに都市の巨大化現象を考えますとき、大阪や神戸と分けて考えること事態が不自然になってきます。仮に神戸ということで見ても、播州地帯やヒンターランドの拡大を考えますとき、神戸は大きな変貌を遂げつつ、めざましい発展を示す可能性が大いにありと期待していいのではないでしょう。

上島 しかし、今後の傾向として、神戸の商社などは、運輸業務とか保険業務をのぞいて、今までの神戸の支店をひきあげる、ということをお聞きしております。

小西 それに似たようなことが過去にあったようにも、お聞きしますね。しかしまた逆の動きのあったことも耳にします。それにしても経済の発展、技術の進歩は企業の立地条件にも大きな変革をもたらして行くのではないのでしょうか。交通事情が良くなり、通信連絡の施設などが完備されてくると、本社機能など地価の安い奥地でもよい、といったことも出てこないともいえませんね。いずれにしてもわれわれは神戸の発展可能性を単なる夢物語に終らせないよう最善の努力を注ぐことこそ何よりも大切と考えます。

上島 神戸のモダンさは、確かに住み良さでもあります

が、その反面、経済の中核が大阪や東京の方へ移っていきうようで淋しい気がしますね。

小西 神戸という名を冠した企業が減るときは、たしかにムードとしては淋しいですね。今もお話したように他府県の企業を、どんどん県下にひっぱってくる積極的な姿勢が、各方面にもっとあってよいのではないかと思うこともあります。

### ★ビジョンを打ち出したら神戸はリーディングをとれ！

上島 ビジョンという点では、現在神戸の街の地域開発たとえばポートアイランド、市街地改造といった事業の神戸経済界に及ぼす影響はどうでしょうか。

小西 投資の経済効果といったことについては詳しいことを知りませんが、ごく常識で判断しても、神戸の経済界に有形無形のプラスをもたらすことは間違いないと思います。淡路の新国際空港、明石・鳴門架橋、それに現実のポートアイランドなど、いずれも神戸でこそ一連の問題であり、速やかな実現を地元の者として祈っています。ただこれらの問題のどの一つをとってみても政府の絶大な支援協力がなければ一地域だけで取扱える問題でないだけ今後とも政府の積極的な態度を心から望んでやみませんね。

上島 今お話しした明石架橋問題にしても、また空港問題それに経済同友会の出されたポートオーソリテイの問題でも、こういったビジョンを大阪へもつていくと途端に弱くなるのですね。

小西 神戸というところは非常に良いアイデアをいつも早く出すのですが、どうもあとのフォローが足りないようですね。ポートオーソリテイだった大阪が進めている格好ですが種を出したのは神戸です。努力不足に帰するかもしれませんが、折角打ち出したアイデアなら、それがものになるまで神戸が率先してリードする気魄が必要ですよ。それに神戸の皆さんがもっと協力し合うという気持が万事はいいですね。町のすぐれた良さが経済

の発展にまだまだ生かされていないです。その点、青年会議所のメンバーの方々は現在空港問題で張りきっていらっしやるそうですが。

上島 この七月十三日で神戸青年会議所も十周年を迎えオリエンタルホテルで、中曽根運輸大臣はじめ知事、市長を迎えて盛大に式典を行ない、これを契機として、Airport of Vision という本を出して、今後淡路の新国際空港建設を目指すことになっています。

小西 老人は過去に生き、青年は未来に生きるといわれますが、未来の神戸を思うとき、若い青年会議所の皆さんに大いに期待したいですね。

#### ★銀行の二面性に立脚して地域社会の産業育成を！

上島 さきほど、銀行の二面性について言われましたが、今後の銀行の役目はどうなりますでしょうか。経済界に対して、銀行は指南役であるのか、それとも育成係か指導係であるのか。

小西 銀行は経済界の血液、潤滑油であり、発展への刺激剤であるといわれます。殊に資金供給者としては、できるだけコストの安い資金を産業界に供給し、産業界を正しく育成・発展させることも役目の一つと思います。そのことが地域の発展ひいては日本経済の発展にも通じるでしょう。もちろん金融構造の変化ということも無視できませんが。

上島 将来、銀行は単に企業に金を貸して育成するだけでなく、企業に対してより指導的な立場に立つようになるのでしょうか。

小西 指導といえはおこがましいが、お得意先に信頼される銀行であるからには事にのぞんでアドバイスを求められる機会も多いでしょうね。そこで自然の勢として、ご相談し合うことが、ますます多くなってくることも予想されます。指導といっても、そういうことではないでしょうか。

上島 現在の経済界では、大企業なら情報収集や研究が

できますが、戦国時代に生きている中小企業では、なかなか先を見通すことが難しいので、銀行の適切な指導を望むところが多いです。

小西 各国の銀行ともだんだんそういう方向に進んでいると聞いています。わが国もその例にもれません。たとえば神戸銀行の場合ですと調査部の経営相談所が専門的にその仕事をやっていますし、全支店がなんらかの知的サービスをさせて戴くつもりで、毎日頑張っています。それだけ常日頃もつと勉強しなければという気持ちにもられますよ。

#### ★経済同友会は地元各団体と相協力して

地域問題にとりくみたい

上島 常務さんは今春、神戸経済同友会の代表幹事になられたのですが、今後神戸での経済同友会の動きについてお聞かせ下さい。

小西 経済同友会のご承知のように、戦後の廃墟の中から立ちあがり、お互いに日本経済の復興・発展を念じつつ同志的結合という形で発足して来たのです。したがって神戸の経済同友会も、東京や大阪のそれと同じ立場で経済問題に取り組んでいくことはいまでもありません。しかし神戸の場合、各地域別の経済同友会のあることを考えると、国全体の問題とならんでやはり地域に密着した問題の解明もネグレクトすべきではありません。この点でもわれわれは二面性に立脚しつつ積極的態度で問題に対処しようというわけです。

とくに地域社会の問題に関しては、商工会議所・経営者協会・青年会議所といった地元各団体とは緊密な連携を保ち、相協力して地域の発展に貢献したいと念願いたします。本年度の事業もこのような基本線の上に立って進めているのでして、会員の方々のアンケート調査による結果を反映したものであると考えています。



## 経済ポケット ジャーナル

### ★猪名川上流の

#### 一庫ダム建設本決まり

淀川水系の水資源開発の一環として計画されていた猪名川上流の一庫ダム建設が、いよいよ本決まりとなった。

一庫（ひとくら）ダムは

川西市一庫地区に水資源開発公社が建設する洪水調節とかんがえ、都市用水利水を兼ねる多目的ダム。高さ七十三メートルの重力式コンクリートダムで、有効貯水量は三千八十万立方メートル。淀川水系では、いま建設中の高山ダム（京都府相楽郡南山城村）に次いで二番目の規模。

新規利水量毎秒二・五立方メートル（日量二十一万六千立方メートル、上水道換算で四十万人分）を

猪名川沿岸の川西・池田・伊丹・宝塚各市に上水道用水を供給するほか、豊中市への給水、尼崎市への工業用水供給なども検討している。

水資源公団は近く実施設計調査にかかり、四十四年度着工、四十八年度完成の予定。総事業費は八十七億



円。同ダム建設によって山形原野百二十七万平方メートル、宅地三万平方メートル、川西市国崎で二十七戸、一庫で四戸の水没家屋が出るため昨夏から反対運動が起っている。

#### ★淡路の好漁場に 廃硫酸投棄



好漁場で知られる淡路島・西淡町沖に不法投棄された廃硫酸による漁場被害が予想外にひどく、兵庫県が瀬戸内海栽培漁業協会とタイアップしたクルマエビのバイロット漁場造成が、この事件は、去る六月十三日未明、兵庫県三原郡西淡町湊港沖三百メートルのところで、「第三幸徳丸」（一九五〇年）がチタン精製廃液（硫酸）百六十トン全部を流してしまったもの。このため全国でも初めての保護水面いわば「魚の保育所」が直接被害を受けたのをはじめ約四百万平方メートルの海域がとくに汚染した。

底の汚染調査を進めているが、いまのところ漁場の生産力回復のメドは立っていない。この事件は、去る六月十三日未明、兵庫県三原郡西淡町湊港沖三百メートルのところで、「第三幸徳丸」（一九五〇年）がチタン精製廃液（硫酸）百六十トン全部を流してしまったもの。このため全国でも初めての保護水面いわば「魚の保育所」が直接被害を受けたのをはじめ約四百万平方メートルの海域がとくに汚染した。

県、地元漁協では西淡町海岸から二十五平方メートルにわたって計画したバイロット漁場に、遅くとも八月月上旬クルマエビ三百万尾を放流することにしていたが、栽培漁業に不可欠なベンゴス、デトリタス（ゴカイ類などの底生動物植物）が全滅してしまっただけ。海底調査に今後一カ月かかるうえクルマエビ放流が遅れると年内にマーケットサイズにならないのが痛い。県では底引き網漁船を動員して海底掃海を続ける一方、アイナメ十万尾を試験的に放流し漁場の生産力回復状況をみることにしている。

### ★KOBEOフィスレディ★



川端久美子さん(19)

日本毛織株式会社 製品課勤務

——巨人、大鶴雄い、玉子焼好き、と言いきる久美子さんは、今春入社したばかりのフレッシュなお嬢さん。高校では華道部、現在書道部、と典型的な大和撫子。——慎重に見えて実はオッチョコチョイなのです。失敗の連続、と笑えるのは、会社にも慣れたためであらう。須磨高卒。得意な料理は？ハンバーグとの答え。

※ ※ ※



3



John

岡  
田  
淳

—  
34  
—



ミニからロマンティックへ  
モードの秋に  
マキシンのシャポーを！



マキシンの帽子のおもめは  
全国有名百貨店でどうぞ！

婦人帽子

**マキシ**

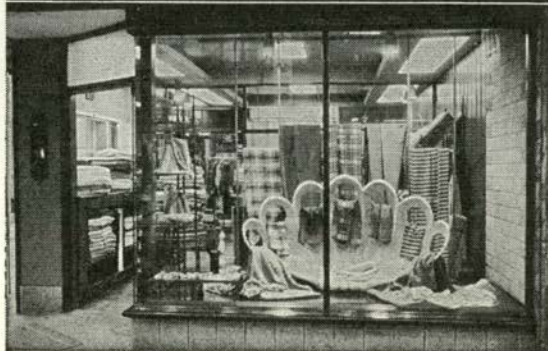
神戸・トアロード 東京・銀座3-2  
TEL (078) 33-6711-3 TEL (03) 535-5041



Lady's Shop

*La Mode*

MOTOMACHI KOBE TEL 33 5689



KOBEセンスを生かした  
信用と伝統の店



▷ゴルフコーナーには、No. 1 のダンロップ用品を中心にあらゆるゴルフ用品がそろっています。

▷タカハシのオリジナル・バッグコーナーは定評があります。



バッグとゴルフ用品の店

**タカハシ**

神戸・元町 3 丁目 TEL 33-1172・7782



**O-SHIBATA**



**柴田音吉洋服店**

神戸・元町 4 丁目南 神戸 34-0693

大阪・高麗橋 2 丁目 大阪 231-2106



## ★技術ジャーナル

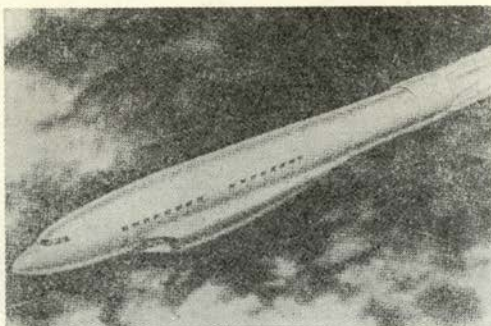
### あすの

### 航空機

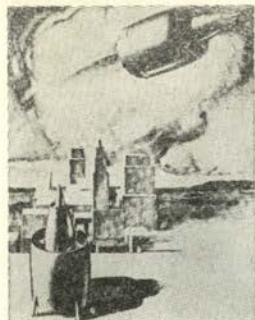
#### 諸岡博熊

△神戸市企画局調査部副主幹▽

F・111が人間の乗る最後の戦闘機といわれているが、はたして未来の航空機はどうなるかまことに興味のあることである。



▲リビッシュ博士が考案したエアロダインの空想図



▲米国のカーマン社で計画中のコレオプタ

目下のところ、高速化（例えばSST機の開発）と低速化（例えばヘリコプターの開発）の方向に向かっているように思われる。このあらわれの一つにVTOL機（Vertical Take off and Landing）といひ、垂直に離陸や着陸のできる航空機が開発されつつある。

このVTOL機の一つとして、コレオプタ（Coleopter）とエアロダイン（Aerodyne）というあすの航空機の一つの形式として注目すべきものがある。

#### ●コレオプタ

形がカブト虫に似ているのでこの名称がある。一九五四年ごろからドイツの航空技術者によって提唱され、その後、アメリカのカーマン社などがアメリカ海軍のために開発を行なっている。

構造と原理を簡単にいうと、流線形胴体のうしろにターボジェットをつけ、そのまわりに環状の翼がある。このすき間に燃料噴射口や環状翼支柱がある。垂直離昇の際はターボジェットの推力を使い、水平飛行にはこの環状の巨大なラムジェットの推力を使って高速を出す。コレオプタは頭を上にして尾部の脚で向上きに地上から垂直に離陸し、その後九十度に向をかえ水平飛行に移る。着陸のときは頭をあげ、エアブレイキを使って、尾部から垂直に接地す

る。飛行中機体の中心軸のまわりにおきる回転は、環状翼の内外に数枚の縦ビレをつけ防止する。操舵はフラップを使う。

#### ●エアロダイン

ドイツの航空機設計家で、デルタ翼の提唱者として有名なアレキサンダー・M・リビッシュ博士が一九五五年末に発表した翼を持たない飛行機である。これは垂直に離着陸し、ヘリコプターのようにホヴァリング（空中停止）も可能で、普通の飛行機のように飛行するといふ、まさに革命的なものである。そもそも、翼というものは揚力の発生には必要だが、高速で飛ぶときは大きな抵抗を生じ、じやまな存在となる。この考えから、リビッシュ博士は離着陸時翼にかわる揚力翼発生装置にジェットの推力を用い、翼のない航空機の開発を行なった。

エアロダインは、胴体内部の整流装置に吸いこまれる空気を使って垂直に離着陸する。空気は数段のプロワーを通り、カーブつきの拡散器に入り、胴体下部の排気口から噴出する。低速飛行やホヴァリングのときは、この噴流を下方に偏流させる。前進はターボジェットの推力で、上昇、旋回、下降などの運動は舵を使用しないで、ジェットの推力を調整して行なう。

# 神戸のアーバンデザイン ⑬

田園都市  
ジェームス山とクラブハウス

水谷頼介＋チーム・UR

日本の住宅「団地」のお手本は、イギリスのニュータウンです。戦前の郊外住宅地も、イギリスの田園都市の実例が、大いに参考になっているようです。

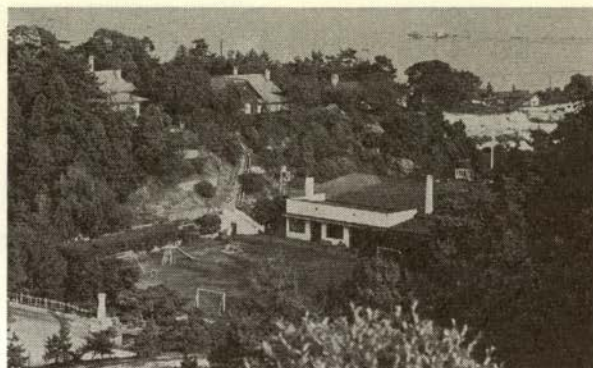
教科書になった田園都市の雰囲気はこんなものではなかったか、と思わせる実物が、神戸にあります。塩屋のジェームス山住宅地がそれです。

海を見下す塩屋の丘に一群の赤い屋根の住宅が並んでいます。何かエキゾチックな雰囲気が住宅地をつつんでいます。

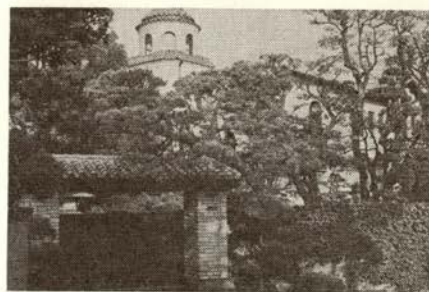
中心に、クラブハウスがあります。ホールや図書室、食堂をもった本館、プール、テニスコート、ローンボーリング場などが、道をへだてた二つの敷地に陸橋でつながれて並んでいます。

クラブは、この住宅地(Estate)の開発者であるジェームス氏の旧邸の一部に昭和初年につくられたものです。クラブハウスの運営は、社団法人「塩屋カントリークラブ」がやっています。クラブのメンバーは、神戸在住の西洋人とその家族です。在日外人の親睦とレジャーの場です。

クラブ組織ではありませんが、日本の住宅団地の近隣センターやコミュニティセンターという施設も、このようなクラブハウスを手本としたものです。

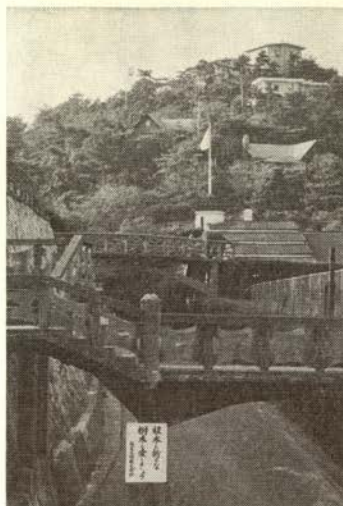


▶ ジェームス山から海を望む



▲ ジェームス山の麓の邸宅

◀ クラブハウスとテニスコートをつなぐ陸橋





華麗な寢殿造り  
シンプルで  
神戸のモダンリビング

18

水谷順介＋チーム・UR

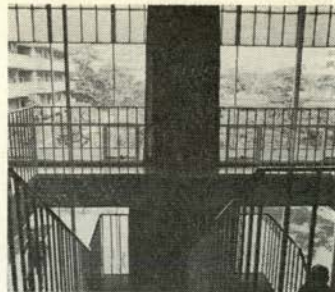
(高月昭子)



▲ 見通しのよい玄関ホール



▲ 領事館正面



▲ 2階ホールより庭をのぞむ

↓ 官舎入口

→ アメリカ総領事館



← サーバントハウス

↑ ガレージ

★噴水公園と背中あわせに位置しているこのアメリカ領事館は、昭和三十一年に、日系の建築家、ミノル・ヤマサキ氏の設計により建てられたものです。当時そのシンプルで、華麗な意匠が注目を集めました。

この領事館の構成は、オフィス・官舎・サーバントハウスの三つによるもので、それぞれの建物が別々の入口を持ちながら、一つの庭をとり囲むようにして配置されています。

昔の寢殿造りのような配置構成です。オフィスは二階建。官舎は3階建、サーバントハウスは平屋建です。オフィスの周囲の回廊には、プラスチック製の御簾(みす)がとりつけてあります。官舎のバルコニーの手すりは、縦格子です。サーバントハウスの骨組は、コンクリート製の柱と梁の構成です。

敷地全体を囲む高い塀は、大谷石製です。庭は日本庭園で、日本建築の手法がいろいろなところに使われています。

アメリカ人の日本観の一面を知るうえでも、興味のある和風アメリカ建築です。

# CINEMA

「スター！」と  
ガートルード・ローレンスのこと  
淀川長治



ジュリー・アンドリュースの七〇ミリ色彩ミュージカル『スター！』の登場で、ことしの夏はごきげんである。  
この『スター！』は有名な英米ミュージカルの花形ガートルード・ローレンスの伝記映画化ミュージカルなので一層お楽しみである。

私はこのガートルード・ローレンスとは彼女出演の映画の名著で接し一層彼女に恋こがれたのであった。

パラマウントのトーキー初期の「春宵巴里合戦」、ロ

ンドン・フィルムズの「男は神に非ず」と「描かれた人生」そして「ガラスの動物園」。一九五一年ブロードウェイの舞台に戻ってユル・ブリンナーを助演に「王様と私」に主演した。これは好評でロング・ランをつづけ私はこの舞台の彼女を見たいがためにニューヨーク行きを決心したのに、惜しくも彼女は一九五二年に五十四歳で亡くなった。私がブロードウェイで見た「王様と私」は、すでにわびしくもコンスタンス・カフェンタアとかいう代



役に変っていた。口惜しかった。

「春宵巴里合戦」はコール・ポーターの作曲による彼女初めての映画出演で、その英国の歌の女王に私はたちどころにまいってしまった。男は神に非ず」はミリアム・ホプキンスとの共演で彼女の役は舞台女優で良人の演じる「オセロ」に妻の役で出演し、舞台の上で演技と思っていたのに本当に良人の両手で首をしめられて殺されようとする妻を演じた。「描かれた人生」は画家のレンブラント(チャールス・ロートン)の伝記映画。「ガラスの動物園」はテネシィ・ウィリアムズの舞台劇の映画化。

彼女は子供のころからレヴューや舞台劇の子役として活躍した。そしてその仲間には同じく子役のノエル・カワードがいて、その劇団が巡演するとき、いつもこの可愛いらしい女の子と男の子は仲良く列車の椅子にならんで腰かけ、大人の俳優たちから貰ったチョコレート分けあって口に入れていたのだ、この子供二人が面白そうにしゃべり合っていたのは、なんと、わい談だった。

ガートルード・ローレンスの伝記映画といえば、それは英米ミュージカルの発展史でもあり、ヒット・ミュージックの年代史でもあり、同時にミュージカルの舞台衣裳、舞台セット、楽屋風景の興味深いスケッチでもあるわけだ。その歌は一九一五年(大正四年)から始まって一

九四〇年(昭和十五年)へとその流行の足跡をさぐるはずだから音楽ファンはさぞやご期待であろう。十五曲の懐しのメロディが登場し、マイケル・キッドの舞踊振付でさらに新しいナンバァーが加えられていくという。かく申す私もまだ見ていないので胸わくつかせているわけである。封

切まちかだのにまだプリント(フィルム)が到着しないのである。

ジュリー・アンドリュースのためにこのミュージカルは、なんと一二五着の衣裳を用意しその一つには七万個のビーズがぬいこまれ、その重さは九キロという。

さて話はずいぶん古いが、私はある日、日劇のウエスタン・カーニバルの歌手の一人と話をする用事があって、それで劇場の舞台のそでで話をしていた。立ちばなしをしていたが、ちょうど横に白い椅子があったので、その椅子の腕によりかかってしゃべっていたのであった。やがて彼の出番となり、彼は派手な笑顔を作って舞台に駆け出した。私は椅子にもたれて舞台の横からそれを見てみると、音楽が急に高らかになると同時にアッと思うまもなく、なんと私のよりかかっていた椅子が私の立っている床ごと舞台へスーッと移動しはじめ、あわててその床から飛び下りたからよかったもののボンヤリしていると私はそのまま舞台へ椅子の上に乗ったまま引き出されてしまうところであった。このようにレヴュー・ショオの舞台の仕掛けは自由自在で、いつかニューヨークのラジョ・シティ・ミュージックホールの、そのせり上つてきたオーケストラ・ボックスが、オーケストラの全メンバーを乗せたまま、演奏しながら、そのオーケストラ・ボックスが今度は何んと舞台の正面から奥へと後退し、そのオーケストラ・ボックスのあとからはダンサーたちがけんらんとせり上つてきたのには驚いた。「スターノ」もそのような面白いレヴュー・ショウの舞台と舞台裏がふんだんに見られるにちがいない。監督がロバート・ワイズということもこの大作への楽しみをふくらます。



★写真左と右はいづれもガートルード・ローレンに扮したジュリー・アンドリュース